

第11次岩美町総合計画策定に向けた  
アンケート集計結果概要について

企画財政課

## 1、町民アンケート

令和2年12月に町民1,500人を対象に、日頃の暮らしや町の施策への満足度、重要度などについてアンケートを行いました。回答率は35.3%でした。

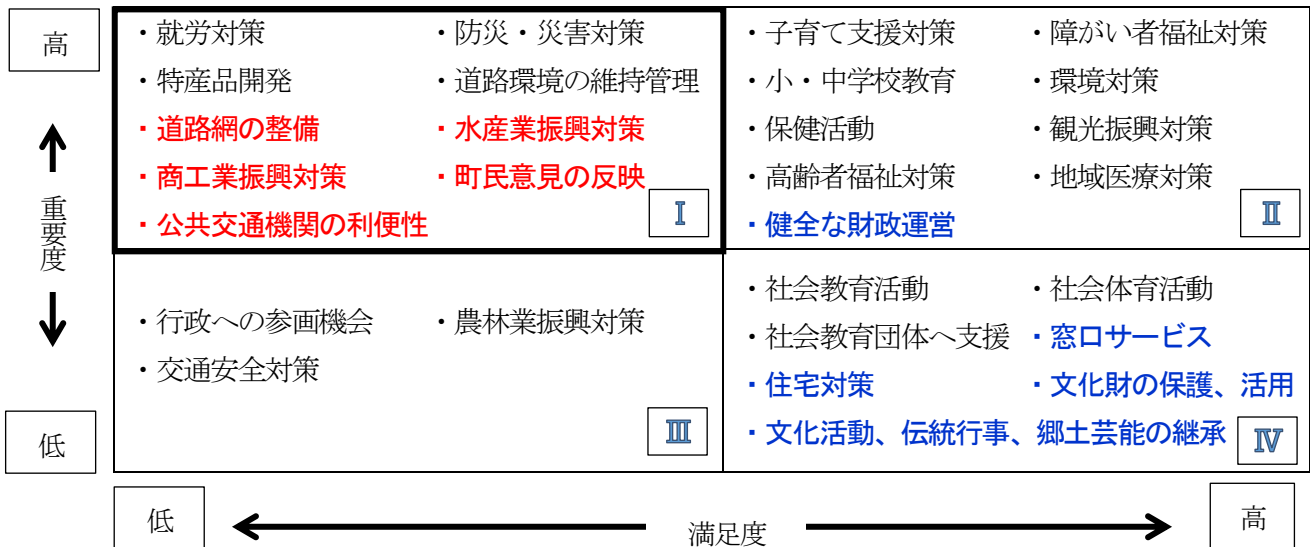
また、岩美中学校全校生徒252人、鳥取県立岩美高等学校全校生徒187人を対象に岩美町の魅力や将来の岩美町に求めるものなどについてアンケートを行いました。

## 2、主なアンケート結果

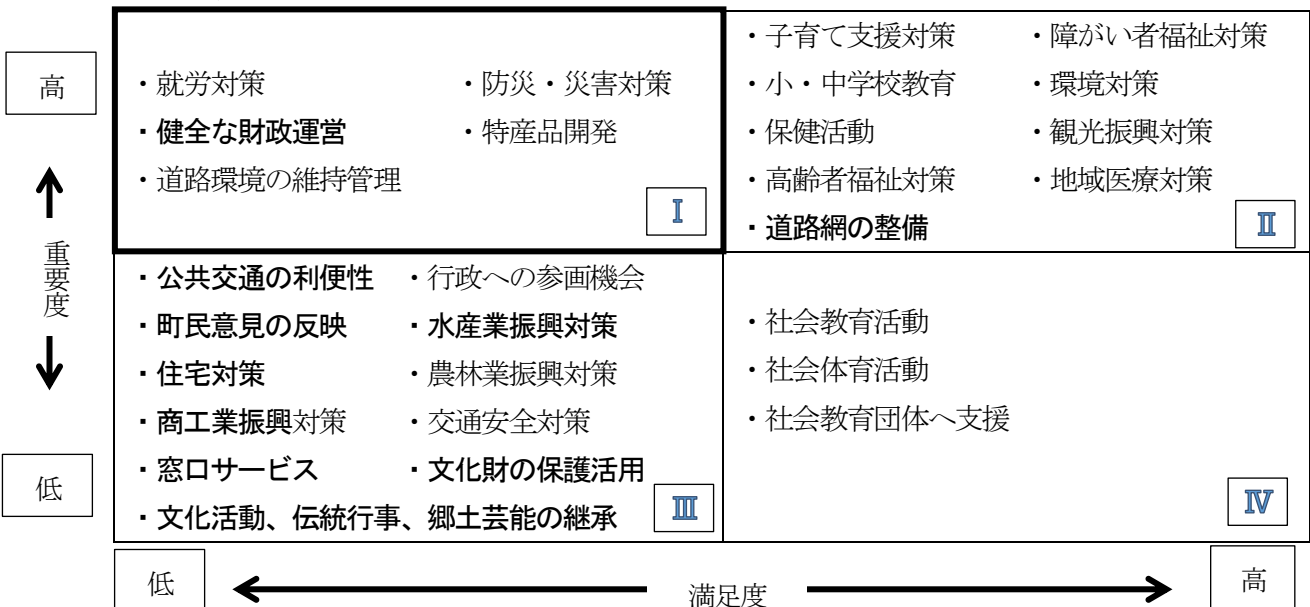
### (1) 施策の重要度と満足度について

\*各施策分野の重要度、満足度についての回答をⅠ～Ⅳに領域に分類

\*満足度を前回アンケート結果と比較し、上昇した分野は青字、低下した分野は赤字



<参考：第10次>

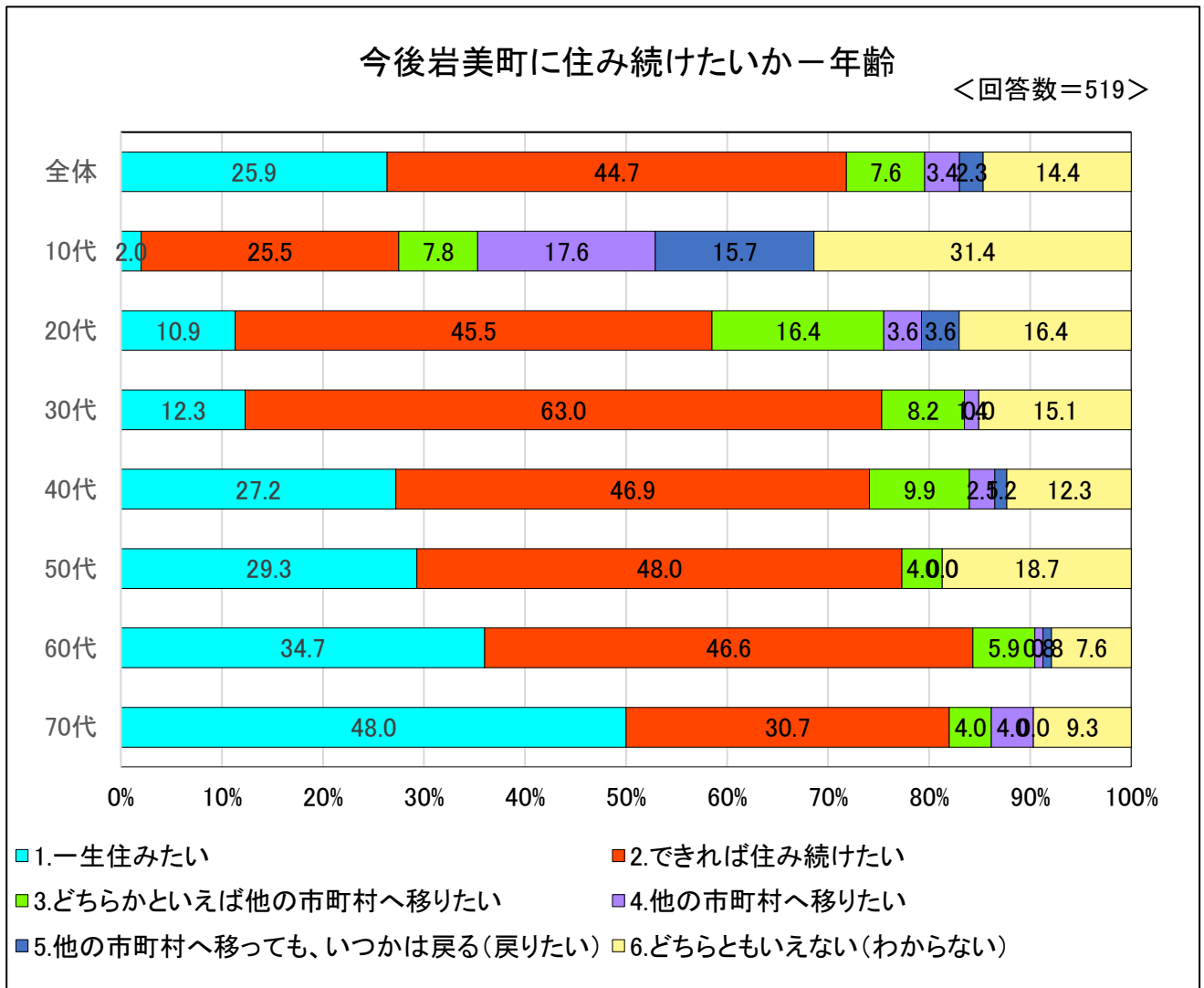


Ⅰの領域に分類される防災、道路環境維持、就労などの分野は重要度が高いにもかかわらず満足度は低く、優先的に取り組む必要がある分野と考えられます。

Ⅱの領域に分類される子育て、地域医療、福祉、環境などの分野は重要度と満足度が共に高く、現状を維持していく必要がある分野と考えられます。

また、満足度（1から3点）の施策分野毎の平均値では、全28分野中25分野において上昇が見られ、これまでの取り組みが一定程度評価されたものと考えられます。引き続き、満足度が高まるよう取り組むと共に、満足度が低下した道路網の整備、道路環境の維持管理、観光振興対策の分野において、更なる取り組みを行う必要があると考えられます。

## (2) 暮らしについて



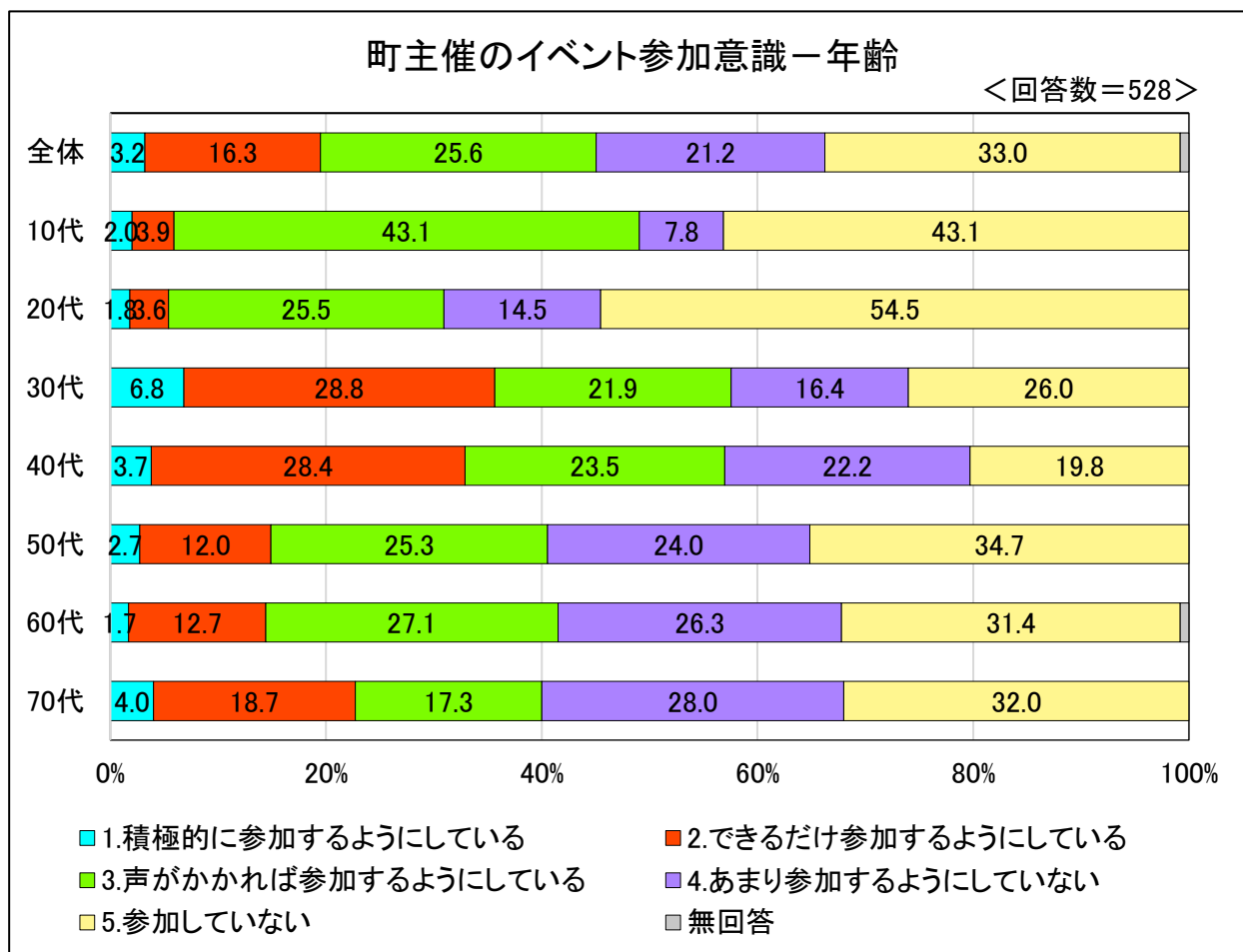
「一生住みたい」、「できれば住み続けたい」が70.6%で、5年前のアンケートと比較し、2.6ポイント減少しました。今回のアンケートから「他の市町村へ移っても、いつかは戻る（戻りたい）」の項目を追加したことが要因の一つとして考えられ、「いつか戻る（戻りたい）」を加えたところでは72.9%となり、前回から0.3ポイントの減少となります。

若い世代ほど「一生住みたい」と回答する割合が低い傾向に変わりはありませんでしたが、一方で、年代別では30代の「一生住みたい」「できれば住み続けたい」が前回から16.9ポイント増加した75.3%であることから30代が求める町づくりに取り組めたものと考えられます。

また、住みやすい理由として「自然が豊かで環境が良い」「災害等が少なく、安心して生活ができる」は前回アンケートと同様に多くの方が理由としています。その他「子育て支援環境が整っている」が2.3ポイント増加しています。住みにくい理由としては「公共交通機関の便が悪い」「雪が多いなど、自然条件が悪い」などがあげられました。

### (3) まちや地域活動への参加意識について

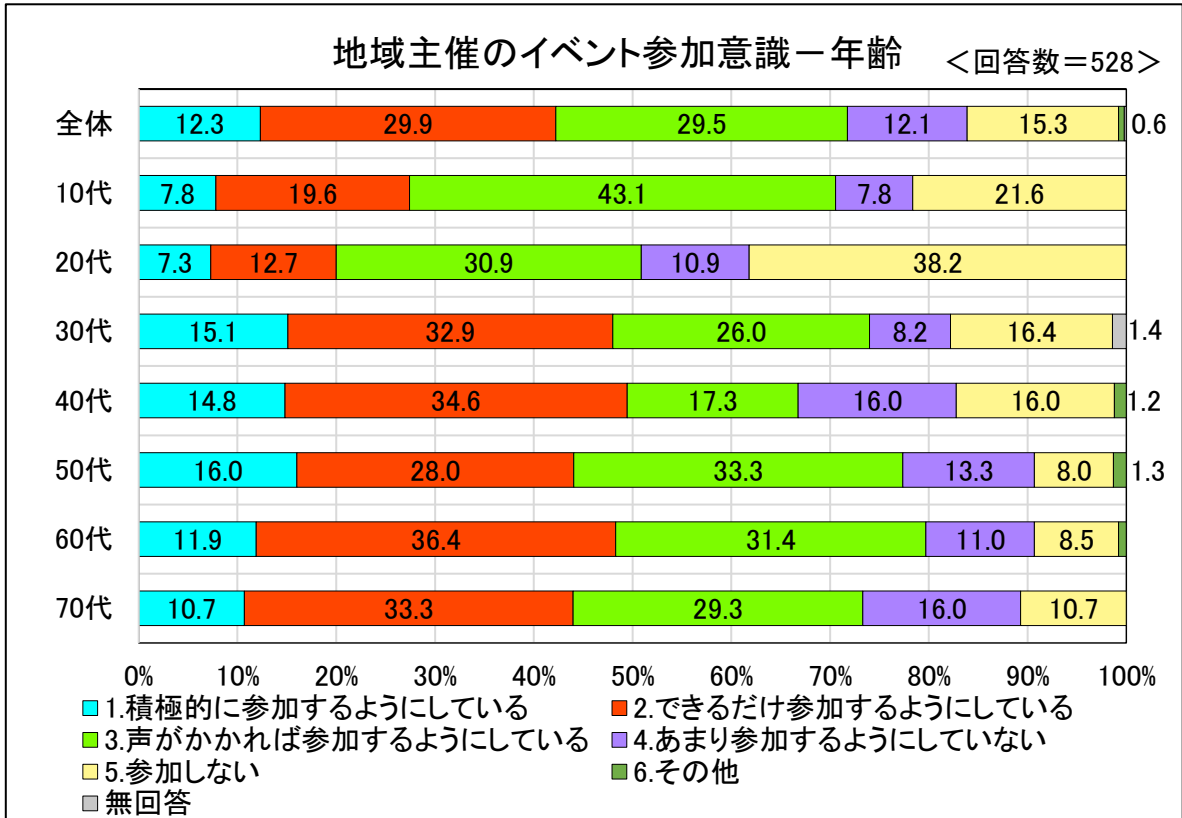
#### ①町主催の事業（イベント）



「積極的に参加するようにしている」「できるだけ参加するようにしている」では19.5%ですが、「声がかかれれば参加するようにしている」までを含めると45.1%であり、きっかけがあれば多くの参画を得ることができると考えられます。中でも10代では「声がかかれれば参加するようにしている」の割合が高く、若い年代に対する参加の動機付けが住民参画を得る鍵と考えられます。

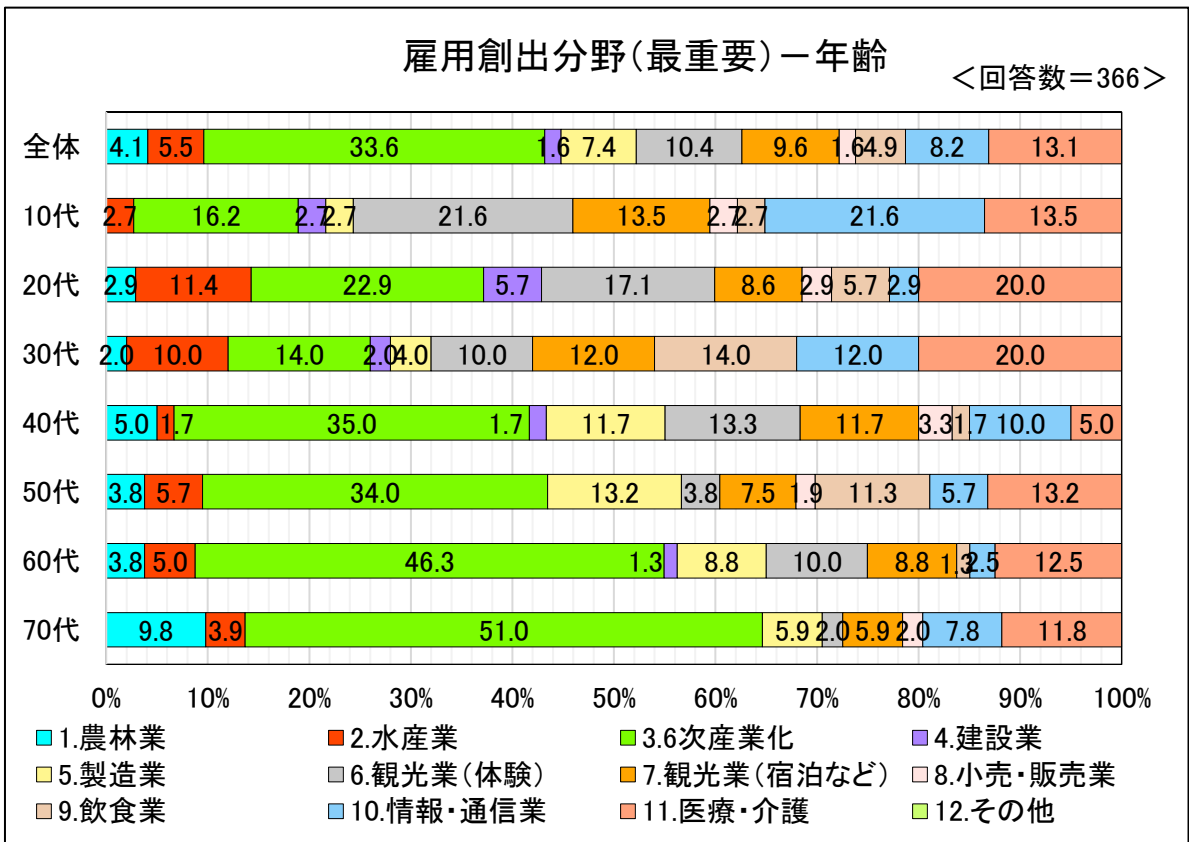
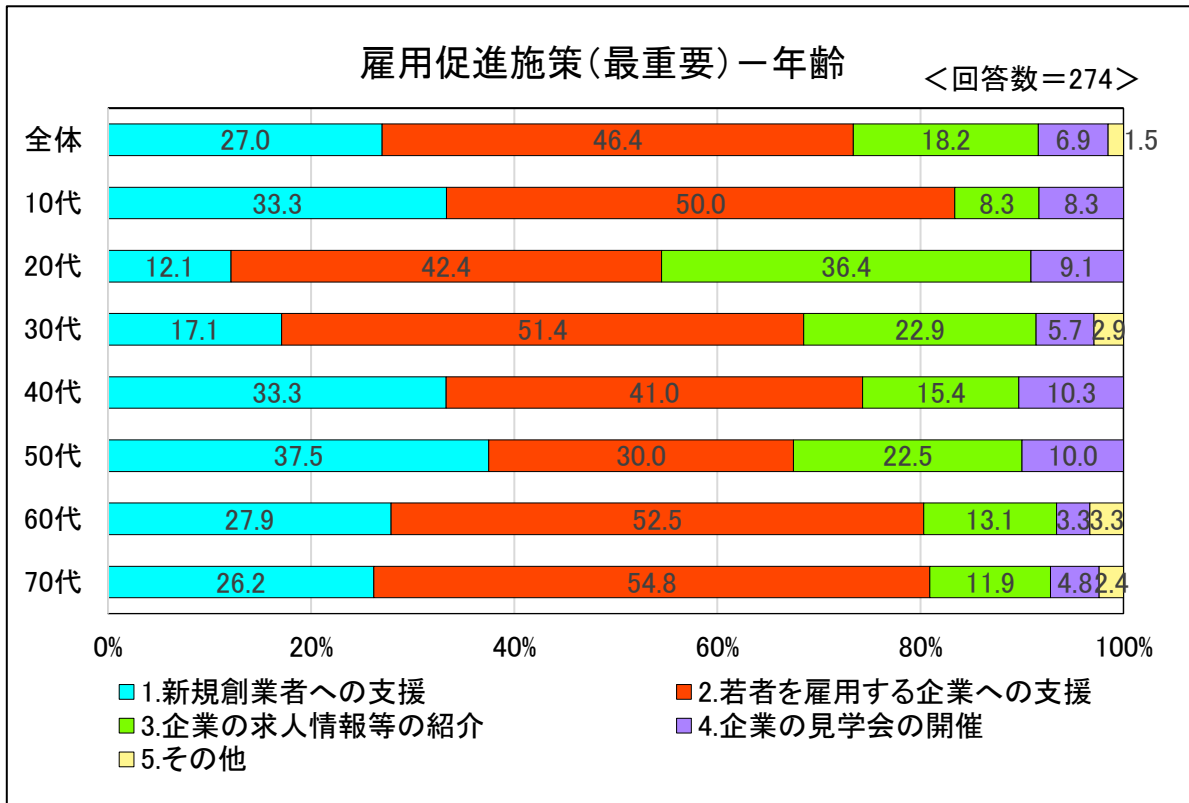
また、「あまり参加するようにしていない」「参加していない」の理由では、全年代で「関心が無い」が最も多く、10代から50代までは「忙しくて時間が無い」、60代・70代では「一緒に行く人がいない」が多くなっています。

②地域主催の事業（イベント）



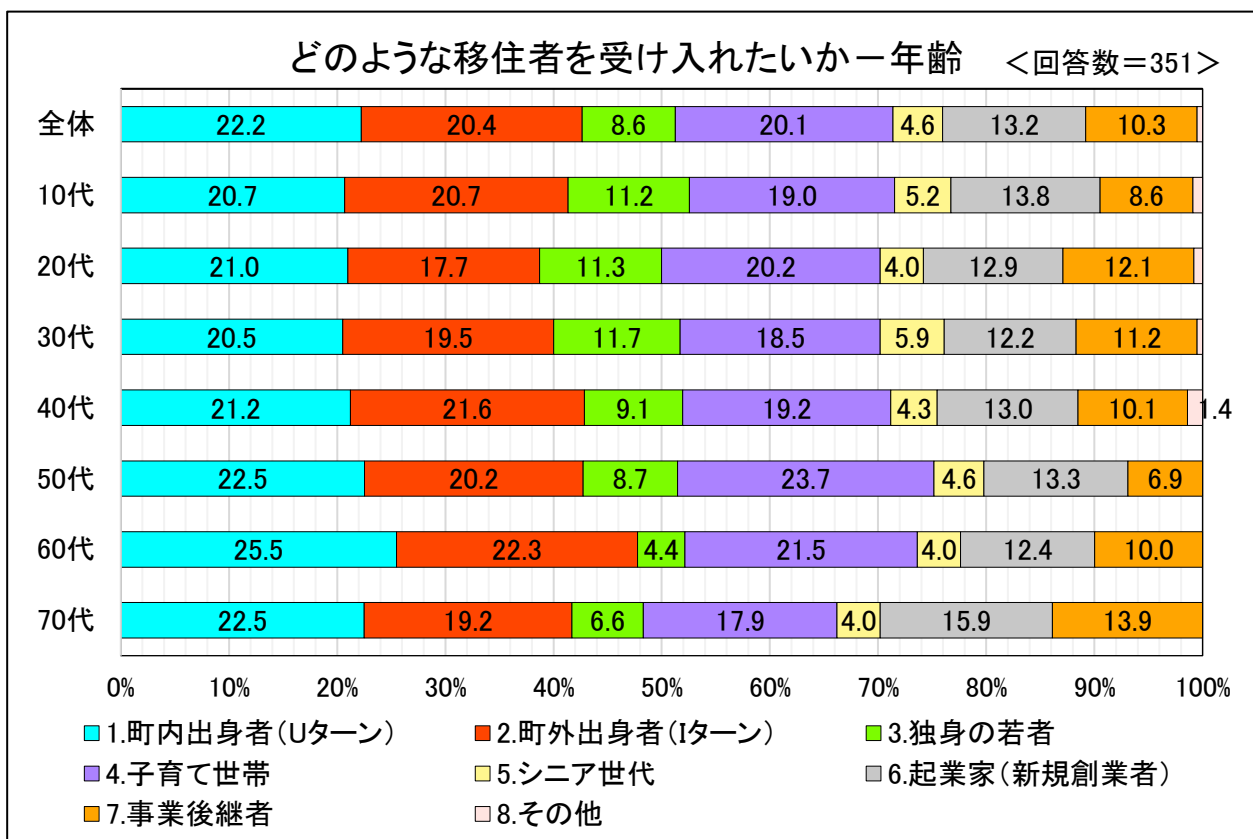
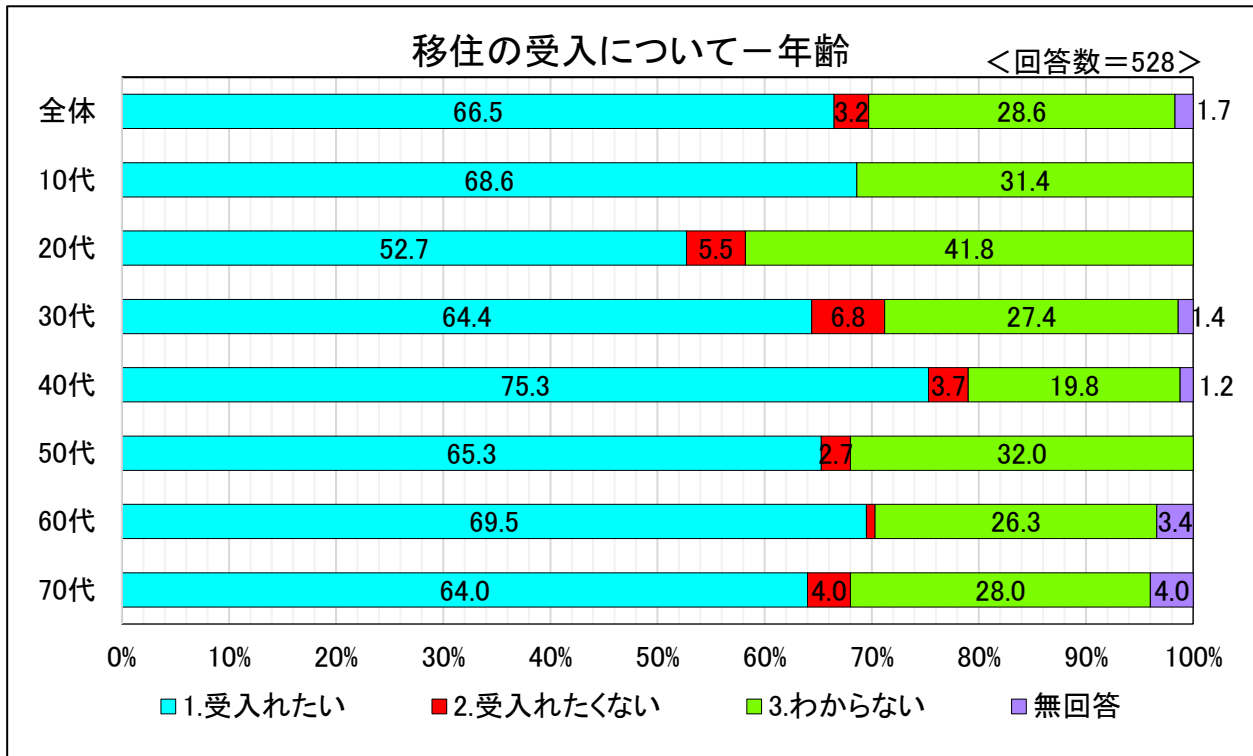
「積極的に参加するようにしている」「できるだけ参加するようにしている」で42.2%となり、地域活動への自発的な参加意識の高さが伺えます。また、「声がかかれば参加するようにしている」までを含めると71.7%となることから、地域でのコミュニケーションが図られることにより、地域活動の活性化が更に図られるものと考えられます。地域コミュニティ（自治会、集落）の必要性についても83.5%が「なくてはならない」「どちらかといえばあった方が良い」としており、身近な繋がりが必要と認識しているという結果となっています。「あまり参加するようにしていない」「参加していない」の理由では、「忙しくて時間が無い」「関心が無い」が主な理由としてあげられます。

(4) 仕事について



雇用を促進するための施策としては、「若者を雇用する企業への支援」「新規創業者への支援」が重要とされる割合が高くなっていますが、20代では「企業の求人情報等の紹介」が高くなっています。雇用の創出を期待する分野では、全体では「6次産業化」が最も高く、「観光業(体験)」が10代・20代で、「医療・介護」が20代・30代で高くなっています。

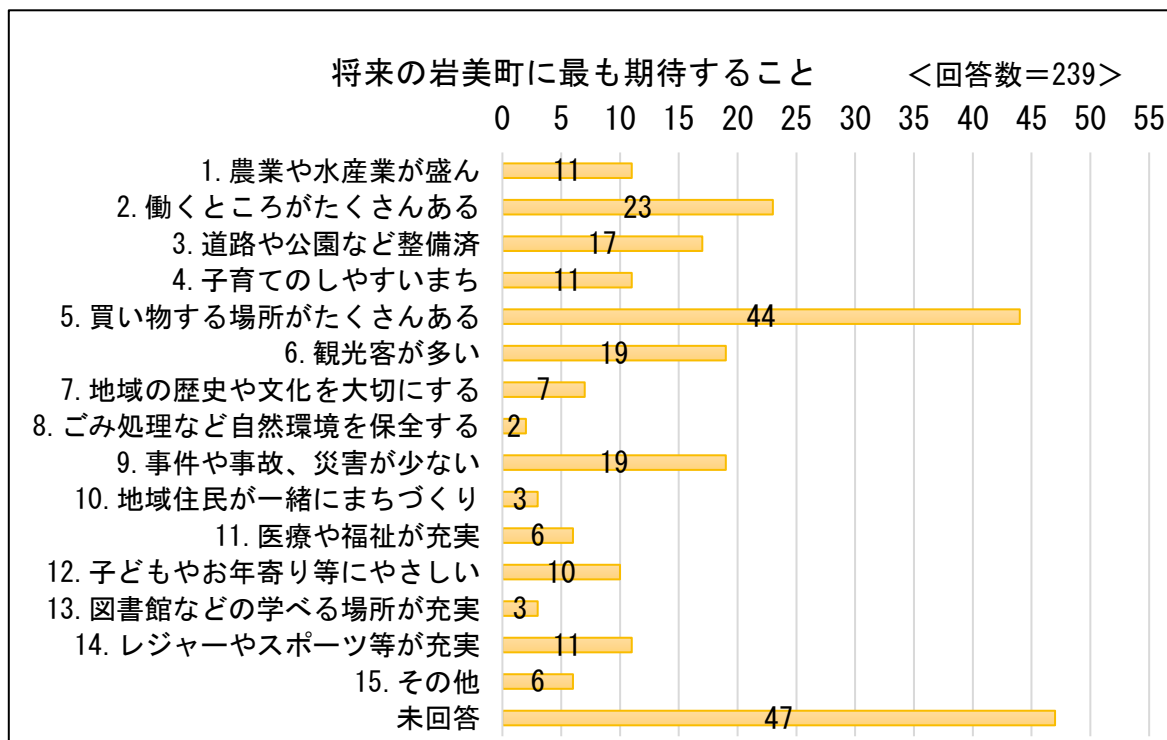
(5) 移住・定住について



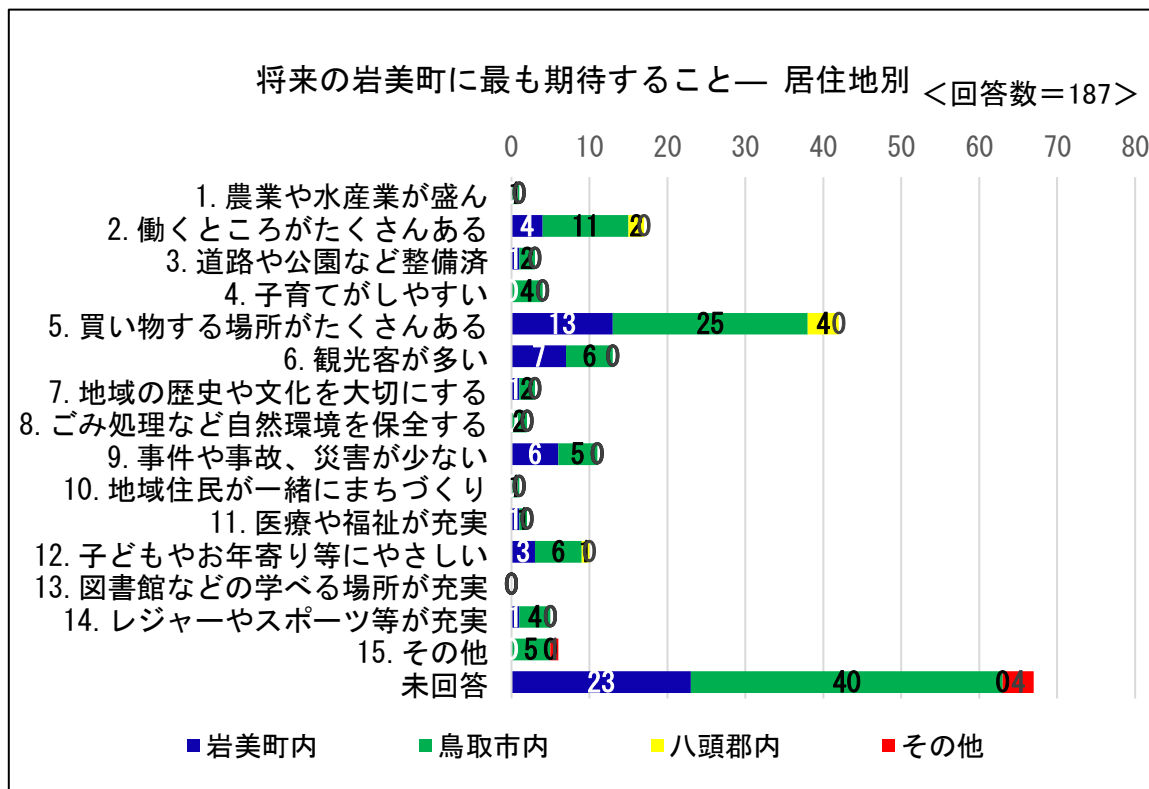
人口減少対策として、都市部等の町外から移住者を受け入れることについては「受け入れたい」が66.5%と前回アンケートから3.2ポイント増加し、「わからない」が4.2ポイント減少しています。受け入れたい移住者については年代により大きな差はなく、「町内出身者(Uターン)」「町外出身者(Iターン)」「子育て世帯」が同程度となり、次いで「起業家(新規創業者)」を望む割合が高くなっています。

(6) 将来の岩美町への期待 (岩美中学校・岩美高等学校生徒アンケート)

<岩美中学校>



<岩美高等学校>

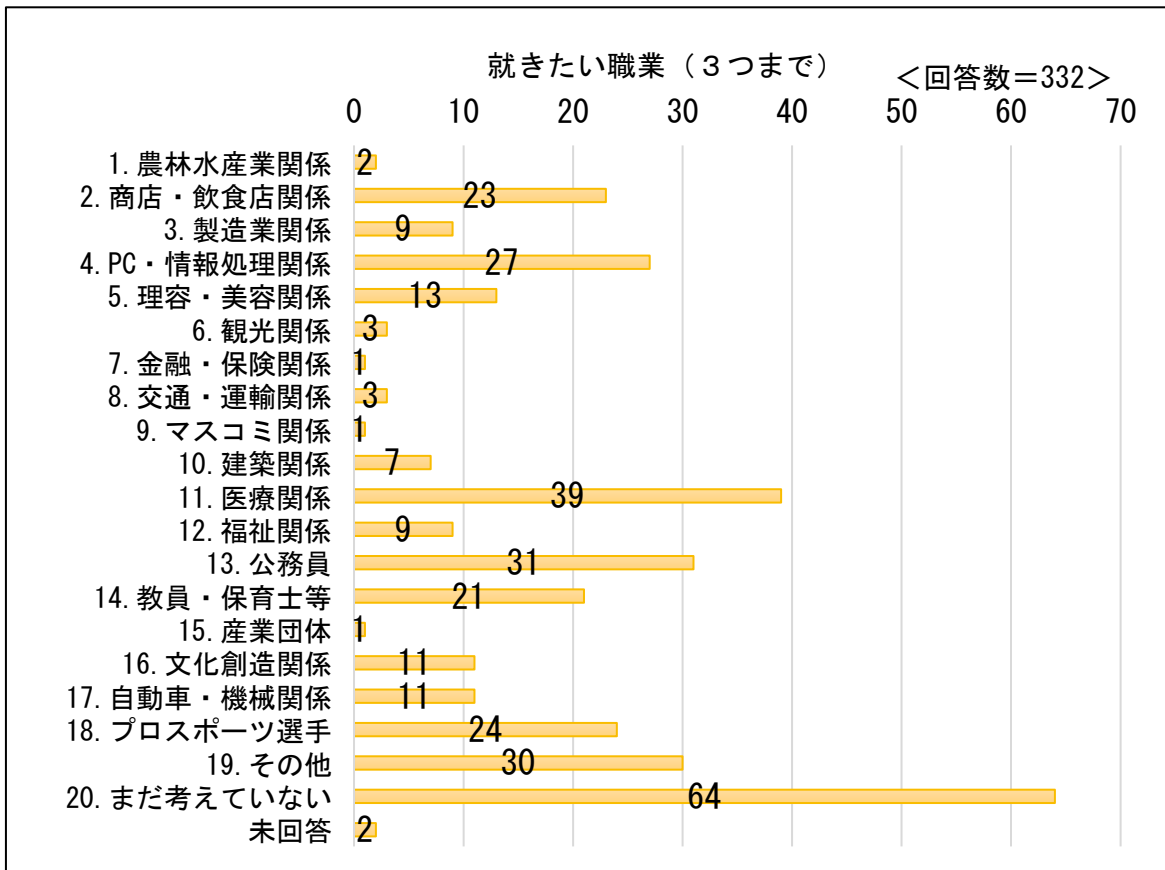


将来への期待として、岩美中学校・岩美高等学校の生徒ともに「買い物をする場所がたくさんある」「観光客が多い」「事件や事故、災害が少ない」「働くところがたくさんある」が多くなっています。岩美中学校生徒では全体的な傾向としては前回アンケートと同様でしたが、「働くところがたくさんある」が前回から4.9ポイント増加し、9.6%となっています。

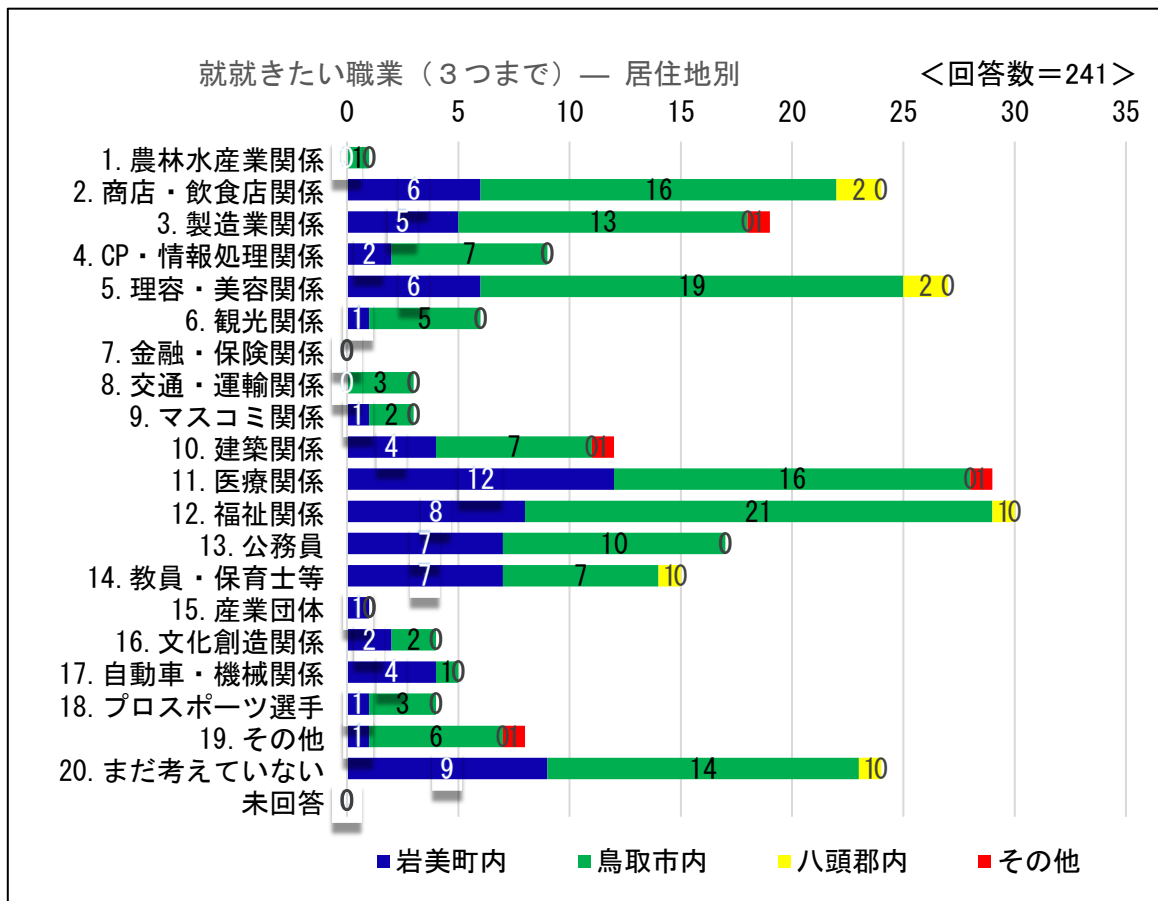


(7) 就きたい職業について (岩美中学校・岩美高等学校生徒アンケート)

<岩美中学校>



<岩美高等学校>



岩美中学校生徒の就きたい職業では、「医療関係」「公務員」「コンピューター・情報処理関係」「プロスポーツ選手」「商店・飲食店関係」の順に多くなっています。その他では「ユーチューバー」「eスポーツ・プレイヤー」「動物に関わる仕事」などがあげられました。また、概ね4分の1の生徒は「まだ考えていない」としています。

岩美高等学校生徒では、「福祉関係」「医療関係」「理容・美容関係」「商店・飲食店関係」「製造業関係」の順となっています。その他では「デザイナー」「ブライダル関係」などがあげられ、「まだ考えていない」は全校生徒の5分の1以下で、複数の職業が選択されることが少なかったことから、将来に対して一定の方向性を持っているものと考えられます。